

（1）市教委各課の課題と将来に向けた取り組み

1. 小中学校の義務教育学校化の推進について【教育総務課】

【経過】

これまで、各教科をはじめ、運動会や体育祭などの学校行事、道徳等の全てにおいて、小学校と中学校の垣根を越えた系統性・連続性のある教育活動を行うことで、義務教育9年間を通して自立した子どもを育むことを目的に、根室市初の義務教育学校である歯舞学園を開校（令和2年4月）し、これまで小中一貫教育を推進してきたところ。

【現状】

義務教育学校の導入にあたっては、義務教育9年間の一貫した指導に向け、さらなる小中一貫・連携の高度化を図ることを目的に、歯舞学園の開校以降、小中併置校の義務教育学校化を目指し、これまでの歯舞学園での実績を踏まえ協議検討を進めてきたところ。

令和5年度には、準備が整いつつある、海星小中学校の義務教育学校化に向けて調整・準備を進めているところ。

【課題】

「根室市における小中一貫教育推進基本計画」に定める、小中一貫・連携の高度化に向けた義務教育学校の導入について、小中併置校からの導入と他の小学校・中学校へも積極的に普及を図ることとしており、義務教育学校化にあたっては、地域、保護者の理解や協力のほか、何よりも、小学校並びに中学校の教員間連携や意識醸成が重要と捉えており、さらには、将来の児童・生徒数の推移を見据えた施設整備など、検討・解決すべき課題もあるところ。

【今後の方向性】

令和5年度の海星小中学校をはじめ、中学校校舎の大規模整備等が必要な厚床小中学校、さらには、現在設計段階で、今後、施設統合を予定する落石小学校、落石中学校についても、順次、義務教育学校化に向けた取り組みを進める。また、市内小学校・中学校の義務教育学校化に向けても、将来の施設整備も構想し、まちづくりの視点も含めながら市長部局とも方向性を共有しながら、市民ニーズ、緊急性、優先度などを整理し、取り組みを進める考え。

２．放課後教室等における開館・受入れ時間の繰上げ【社会教育課】

【経過】

市街地３小学校に設置の放課後教室、歯舞及び花咲港の児童教室、西浜児童会館では小学生の留守家庭児童会に登録の児童を対象に、放課後や土曜日、学校の長期休業中における児童の遊び場と居場所の確保のため、児童保育を実施し、年間で延べ４万人から５万人の児童が利用している。

また、本年４月から開館時間の４０分延長を図り、午後６時まで利用可能として子育て環境の充実を図ったところ。

- ・児童会館 西浜児童会館
- ・放課後教室 花咲、北斗、成央放課後教室
- ・児童教室 歯舞児童教室、花咲港児童教室

【現状】

今年度、会館時間の延長を図ったところであるが、当市の基幹産業である水産加工業に従事する保護者から土曜日や夏休みなど学校の長期休業中の開館時間の前倒しについて要望が寄せられている。

- ・平 日 １２：００～１８：００
- ・土 曜 ８：３０～１８：００
(児童教室 １２：００～１８：００)
- ・長期休業中 ８：３０～１８：００
(児童教室 ９：００～１８：００)

※参考 保育所の預かり時間 ７：４５～１８：００)

【課題】

現在でも、留守家庭児童会の開館時間に地域差があることから、開設時間の前倒しにあたっては、地域ごとのニーズを把握する必要がある。

【今後の方向性】

令和５年度において利用者のニーズを把握するための調査を行い、結果に基づき必要なスタッフ数や体制などについて検討を行い、令和６年度実施に向け取り組みを進める。

3. (仮称) 根室市総合体育館基本構想【社会体育課】

【経過】

市民の屋内スポーツ活動拠点となっている、根室市青少年センター（昭和45年建設）は、耐震化の課題に加え、建設から既に50年を超え老朽化が進んでおり、これまで、度重なる施設改修を進めながら、施設の維持に努めてきたところ。

【現状】

各種スポーツ、体育レクリエーションの市民ニーズが多様化している中、その対応にあたっては、狭隘な施設であることなどから、これまで、「総合体育館」の整備要望が寄せられたところ。

教育委員会としては、根室市総合体育館整備市民委員会を設置し、市民との意見交換を重ねながら検討を進め、令和2年3月「(仮称) 根室市総合体育館『整備基本方針』」を策定したところ。

【課題】

市民ニーズに対応するためには、「(仮称) 根室市総合体育館」の整備に向け、規模や設置場所といった施設の機能などについて基本的な方向性を取りまとめることが必要となる。

【今後の方向性】

整備基本方針をもとに、現状と課題の分析、「(仮称) 根室市総合体育館」の建設規模、設置場所、設備機能などの基本的な考え方をまとめ、建設基本計画や建設基本設計等の基礎となる「基本構想」を令和5年度より策定する方向で調整を進める。

また、基本構想策定のために市民・団体、有識者等からなる外部検討組織として、「(仮称) 根室市総合体育館建設市民委員会」を設立する考え。

4. 根室市パークゴルフ場内ハウス建設工事【社会体育課】

【経過】

根室市パークゴルフ場（宝林町）は平成6年に供用開始され、隣接するコミュニティーハウス（プレハブ／平成8年設置）は、市内奉仕団体より寄贈を受け、利用されてきたところ。

当パークゴルフ場は高齢者を中心に1日当たり約150名の利用がある中、管理棟の休憩スペースは手狭であり1組しか利用できず、コミュニティーハウスでも、2、3組が利用できるほどの大きさしかなく、繁忙期や大会開催日などは一斉に食事を摂る時間帯があるため、支障を期している。

【現状】

現行のコミュニティーハウス施設の老朽化に対しては、部分的な施設補修で対応しているが、関係団体からは、施設の改善要望書が提出されているところ。

【課題】

当施設は高齢者スポーツの振興において重要な施設であり、「憩いの場」、「交流の場」としての機能も果たしている。

このため、利用者の利便性と安全性を確保し、市民ニーズに応えられるよう施設拡張改修の必要がある。

【今後の方向性】

根室市スポーツ推進計画において、「高齢者にとってのスポーツは、健康の維持・増進に有効であるだけでなく、様々な人との交流や地域コミュニティの機会を得ることができ、社会参加の促進や、社会貢献への期待につながるもの」としており、「憩いの場」、「交流の場」としての機能を果たす施設新築に向けた、取り組みを進める考え。

5. 学校巡回図書事業【図書館】

【経過・現状】

学校図書館の充実に向けては、これまでも、市立図書館の司書によるレイアウト等の助言協力などを行ってきたところであるが、地域の生涯学習施設である図書館が、「学校巡回図書」を整備し、また図書館司書が図書室運営のアドバイス等を行うことで、次代を担う子どもたちのために学校図書館の更なる充実化を実施する考え。

【課題】

学習指導要領の改訂やGIGAスクール構想の推進により、児童・生徒の学習方法が多様化している環境のなか、学校図書室の機能充実は、大きな課題となっている。

図書館図書整備事業を活用して、「学校巡回図書」分の蔵書を整備し、図書館司書が学校教員と協力しながら、学校図書室の機能充実や各教科に必要な蔵書の選定を行い、児童・生徒の地域学習や学力向上に向けた支援を行う必要があると捉えている。

【今後の方向性】

初年度については、既存の図書館図書整備事業を活用し、市内各小中学校配架用の図書を整備し、一定の期間を設けて各学校図書室を巡回させることで、学校図書室の利用促進を図る考え。

次年度以降は、利用状況等を精査し、予算の増なども含め検討し、更なる充実に向け取り組む考え。